

1 (3) 学校の強みと弱みの共有（現状把握）

学習面における強みと弱みの把握 ～概念化シートを使って～

👁️ こんな実践

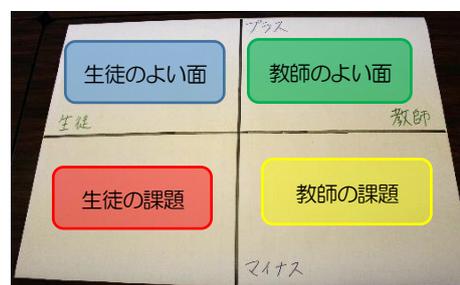
次年度の研究や学習における重点を決めだすためには、年度末に成果と課題を全教職員で分析し現状把握することが大切です。その際に、生徒の学習活動の実態と、教師の授業づくりの実態のそれぞれのプラス面とマイナス面について、概念化シートを用いて整理し、成果と課題の現状把握を行った実践です。

実践学校 B中学校

実践時期 1月中旬（ある日の放課後 30分程度）

- B中学校では、次年度の研究や学習における重点を検討するために、プロジェクトチームを組織し、授業や生徒の学習の様子についての実態把握を行っています。
- プロジェクトチームのメンバーは、様々な視点から検討できるように、研究主任が中心となり、異教科、異年齢の教職員で構成しました。
- 概念化シートへまとめた話し合いは、次のように行いました。

- ① 縦軸を「プラス面（よい点）」と「マイナス面（改善すべき点、課題点）」とし、横軸を「生徒」と「教師」とし、生徒の学習活動の実態と教師の授業づくりの実態を整理できる概念化シートを作成していきます。



概念化シートを活用

- ② 普段、授業を行う中で感じている生徒の様子や、自分自身の授業の様子、さらに参観した授業を振り返り、付箋に記入します。そして、記述した付箋を該当する4つのゾーンに振り分け、シートに貼っていきます。



付箋に書いて貼っていく

- ③ メンバーで話し合いながら4つのゾーンに振り分けられた付箋を整理し、グループ分けを行います。同じような記述内容の付箋をひとまとめにして線で囲み、小見出しを付けます。



付箋を整理し、小見出しをつける

